

地域で生涯を通じて共に学び、生きるということ

日時：11/30(木) 10:00～15:30

会場：岩手県立生涯学習推進センター

定員：50名

【であい授業】

「美術館の作家さんと出会う！」

～障がいのある作家さんとの
であい授業～

<授業者>

るんびにい美術館在籍利用者

小林 覚 氏



るんびにい美術館が実施している「であい授業」。それは、障がいのある作家さんが講師となり、授業を行うというものです。講師のこれまでの人生や、現在のアート作品の紹介を受講者の皆さんと共有します。授業を受けた後、「障がい者」のイメージがガラリと変わるかもしれません。

【講義・演習】

「社会で共に学び、生きるということ」

～るんびにい美術館の取り組みから～

<講師>

しゃかいのくすり研究所代表
るんびにい美術館アートディレクター

板垣 崇志 氏



るんびにい美術館のこれまでの取り組みから、障がいのある人たちと共に地域で暮らす、共に学ぶとは何かを考えます。また、行政機関や地域住民の役割についても考える機会とします。

【シンポジウム】

テーマ「地域で生涯を通じて共に学び、生きるということ」

<情報提供者>

岩手県立気仙光陵支援学校 進路指導主事 折戸 秀和 氏

特定非営利活動法人 ハックの家 代表 竹下 敦子 氏

岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課 社会教育主事 阿部 貴弘 氏

社会教育、生涯学習分野においては、障がいのある当事者の声やニーズに応えるため、学校卒業後も共に学び続けることができる「場」づくりを進めていくことが必要です。地域においては、障がいのあるなしに関わらず共に生きる共生社会の実現が期待されています。

【主催】 岩手県教育委員会

【問合せ先】 岩手県立生涯学習推進センター

〒025-0231 花巻市北湯口 2-82-13

TEL 0198-27-4555



[まなびネットいわて]

<https://manabinet.pref.iwate.jp/>



[実施要項・申込フォーム]